

第 240 回日本神経学会九州地方会

日本神経学会九州支部世話人会議事録

令和 5 年 6 月 24 日 15:00 より Web 開催

司会：谷脇考恭 教授 第 240 回日本神経学会九州地方会会長
高嶋 博 教授 日本神経学会九州支部代表

事務局：松浦英治・安藤匡宏（鹿児島大学脳神経内科）

239 地方会参加者数：WEB 参加 381 名、現地参加 106 名、単位付与者数 378 名

生涯教育講演会：WEB 参加 158 名

1. 大会長挨拶（第 240 回地方会）

久留米大学 呼吸器・神経・膠原病内科 谷脇考恭 教授よりご挨拶いただいた

2. 第 241 回地方会会長挨拶（R5 年 9 月 23 日予定）

大分大学 神経内科学 松原悦朗 教授よりハイブリッドで開催する予定である旨
ご説明いただいた。

3. 第 242 回地方会会長挨拶（R5 年 12 月 9 日予定）

宮崎大学 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学 塩見一剛 先生より、現地のみ
ないしハイブリッド開催であることをご説明いただいた。（ハイブリッドの方向）

4. 第 243 回地方会会長挨拶（R6 年 3 月 2 日予定・脳外科共催）

九州大学 神経内科学 磯部紀子 教授（不在のため、事務局より 2024/3/2、九大
病院キャンパス内の百年講堂にて九大脳外科吉本教授と開催準備中、とのこと伝
達した）

5. 今後の予定確認

第 244 回 R6 年 6 月 琉球大学

第 245 回 R6 年 9 月 熊本大学

第 246 回 R6 年 12 月 長崎大学

第 247 回 R7 年 3 月 福岡大学

以上、予定を確認した。

佐賀大学の小池新教授にご挨拶いただいた。

6. 議事

6-1) 地方会開催について（確認）

- ・開催校の役割：共催アクション・広告募集、抄録集作成、世話人への葉書き連絡
- ・他地方からの Web 参加者には原則点数付与なし・現地参加分は大会長判断
- ・当日受付の有無、当日会員費、決済方法は大会長判断。

以上、開催方法を確認した。

6-2) 生涯教育講演会について（事務局より）

- ・今回は講演者には後日現金書留で郵送した件について。今後適宜変更。
- ・演者・演題は公募、植田先生の推薦で世話人会で決定する案について
- ・生涯教育講演の会計（交通費，謝金，会場費など）を事務局で管理していいか
- ・生涯教育講演会はハイブリッドを継続するか（金額面で継続可能か）

おおよその収入=200名参加で80万+補助金40万=120万

開催大学を持ち回り制にする案についてご意見いただいた。

高嶋先生より今後の単位取得案に応じて検討していく案についてご意見いただいた。

6-3) 本地方会の支部代表・監事・世話人について今回より更新について

- ・新年度に認定された教育ないし教育関連施設について
(令和5～6年度世話人：2023/4/1～2025/3/31)

6-4) 令和4年度の会計報告

- ・地方会会計および生涯教育講演会の会計監査報告（渡嘉敷先生より）
渡嘉敷先生より監査を行い問題なかった旨ご説明いただいた
 - ・地方会会計詳細について（事務局より会計資料提示した）
 - ・生涯教育講演会会計詳細について（事務局より会計資料提示した）
- 事務局より説明し、異議はなかった

7. 日本神経学会理事会の報告：高嶋より

高嶋先生よりご報告いただいた。

神経総会の予定が東京大学，大阪大学，北里大学，新潟大学になったこと説明
代議員に女性を増やすため各県の指定枠を減らさない形で女性枠を増やしていく予定
であることを説明。

セクション委員を増やしていく予定であることを説明。

8. 日本神経学会地方会支部課題検討特別委員会

日本神経学会地方支部状況調査アンケート 集計結果について確認いただいた。

【1 開催状況について】

①年何回地方会を開催していますか

北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
2	2	4	3	3	2	4

②過去1年の地方会の演題数は平均何題でしたでしょうか

北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
31.5	35	80	60	58	40.5	34

③演題登録はどのようなシステムを使用されていますか

北海道	9月開催は北海道医学大会の分科会として開催しているため、北海道医学大会演題登録システムを用い、3月開催は事務局に直接メール添付する形式で演題登録してもらっています。
東北	添付ファイルでメールにて運営事務局に提出
関東甲信越	UMIN演題登録システム
東海北陸	各回の主催会長が運営会社に委託し、運営会社のシステムを使用しています。
近畿	UNMNの演題募集システム
中国四国	インターネットによるオンライン登録
九州	Web登録

④プログラムだけでなく抄録集(前抄録)を作成されていますか

⑤抄録集(前抄録)を作成されている場合、文字数は何文字ですか

北海道	YES	432字;27字×16行以内、演題番号・所属等含む
東北	NO	
関東甲信越	NO	
東海北陸	YES	432文字
近畿	YES	450文字(UMINの仕様に則って、演題名 全角80、本文 全角 450、演題名・本文・著者・所属機 関全てを含め550)
中国四国	YES	全角800字
九州	YES	432文字

⑥1回の地方会あたり会場数はいくつ設置しましたか

北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
1	2	2	2	3	3	1

⑦コロナ禍における過去2年間の地方会の開催形態はどのようにされましたか

北海道	オンライン3回、ハイブリッド1回
東北	完全オンライン開催で実施(※予算面でハイブリッド開催は見送っている)
関東甲信越	ハイブリッド開催
東海北陸	Web開催(ハイブリッドなしで、完全にWeb)
近畿	開催6回、すべてハイブリッド開催5回
中国四国	Web形式
九州	第231 - 234回Web開催、第235 - 238回ハイブリッド開催

⑧地方会発表において表彰制度を設けていますか(設けている場合、具体的内容を教えてください)

北海道	NO	
東北	NO	
関東甲信越	NO	
東海北陸	NO	
近畿	YES	若手奨励賞：脳神経内科を専攻する若手医師を増やすことが目的。 初期研修医(卒後1~2年目)、内科専攻医(卒後3~5年目)の筆頭発表者が応募可能。発表内容や態度、質疑応答等の項目により総合的に審査が行われ、上位の発表者には賞状や副賞をお渡しする。プログラムの運営上、応募数多数の場合は、あらかじめ、審査対象演題数を絞ることがある。受賞者数や副賞含め、詳細は会長の意向。
中国四国	YES	若手奨励賞
九州	NO	

⑨地方会の会場はどのように決定していますか

北海道	9月は札幌医科大学、3月は北海道大学を会場として、持ち回りで開催しています。
東北	主催する大学・病院の担当者が決定、世話人会で事前通知している
関東甲信越	砂防会館(固定)
東海北陸	東海地区→名古屋国際会議場 北陸地区→主催会長に一任
近畿	運営事務局(コンベンション)と相談しながら基本的に会長の意向。
中国四国	大会長に一任
九州	主催大学により決定

⑩託児所は設置していますか (Yes/No) Yesの場合、利用者数をおしえてください

北海道	YES	0 (今のところ利用された方はいらっしゃいません)
東北	NO	
関東甲信越	NO	
東海北陸	NO	
近畿	YES	(1-3名程度) 設置開始直後コロナ禍となったため今後の利用数は予想できない。
中国四国	NO	
九州	NO	

【2 生涯教育講演会について】

①年何回生涯教育講演会を開催していますか

②1生涯教育講演会ごとの講演数は何演題ですか

③生涯教育講演会の1講演あたりの時間はどの程度ですか

	回数	演題数	講演時間
北海道	1	4	40分+質疑応答10分
東北	1	4	講演30分、質疑10分
関東甲信越	1	4	1時間
東海北陸	1	4	45分
近畿	1	4	60分を1演題、45分を3演題
中国四国	1	4~5	50分程度
九州	1	4	50分

④生涯教育講演会の主担当者(企画者)はどのように決めていますか

北海道	北海道支部事務局(北海道大学)が主に企画しています。9月地方会開催時の世話人会で世話人から複数の演者候補者を上げてもらい、事務局から講演を打診し演者を決定しています。
東北	東北6県で持ち回り+関東/北海道など近隣の支部から1名の演者を依頼。
関東甲信越	同年度の地方会を担当する会長4名(うち6月を担当する会長が長を務める)と学会本体の委員によるプログラム委員会が担当する
東海北陸	幹事から選出
近畿	毎回、支部事務局が主催
中国四国	大会長に一任
九州	熊本大学の植田先生を責任者に、地方会開催中に行われる世話人会の中で希望をとる。

⑤内科学会のように支部生涯教育講演会を本部管理下で開催することを望まれるか、

あるいは、これまで同様に支部に一任した運営を望まれるか、希望を教えてください

北海道	従来通り支部に一任いただくほうが運営上好ましいように思います。
東北	これまで同様に支部に一任した運営を希望する
関東甲信越	不明(世話人会で本案件を議論したことがありません)
東海北陸	本部管理下での開催を希望します。
近畿	これまで同様の方式を希望する
中国四国	内科学会が本部管理下で開催するのは、広範な領域にわたる演者の重複を減らす調整のためであり、開催の1年半前には希望演者のリストを学会本部に提出することになっています。神経領域では調整の必要性は高くないと思われるので、現在の方式のままで良いと思います。
九州	特に強い希望はない。

⑥生涯教育講演会の会場はどのように決定していますか

北海道	3月の地方会開催の翌日（日曜日）に開催していますので、北海道大学で開催される地方会会場と同じ会場が生涯教育講演会の会場となります。直近、2回はWeb開催。2023年3月はハイブリッド開催を予定しましたが、すべての講師がオンライン講演となったため、オンライン開催のみに変更しました。
東北	地方会会場と同じ場所で開催
関東甲信越	砂防会館（固定）
東海北陸	地方会と同会場（地方会の翌日開催）
近畿	午前地方会開催、午後に生涯教育講演会開催の形をとるため、午前の地方会と同じ会場を使用する。
中国四国	大会長に一任
九州	毎年3月に行われる地方会は福岡大学と九州大学が一年おきに開催担当校となるので、その地方会会場を翌日教育講演会の会場として使用している。（今月の九州地方会は福岡大学が主催し、ハイブリッド開催で会場は福岡大学。その翌日の教育講演会は今回は開催校の意向でWeb開催のみである。）

【3 財務状況について】

①地方会会員の年会費はいくらですか

②地方会への参加費用はいくらですか

③生涯教育講演会の参加費はいくらですか

	年会費	地方会参加費	生涯教育講演会参加費
北海道	3,000円	0円	1,000円
東北	1,000円	1,000円	4,000円
関東甲信越	施設会員 30,000円 個人会員 4,000円	3,000円	5,000円
東海北陸	3,000円	1,000円	3,000円
近畿	0円	4,000円	4,000円
中国四国	一般会員；2,000円 世話人；3,000円	大会長の一任 (2,000円～4,000円)	4,000円 (学生は無料)
九州	5,000円	2,000円	4,000円

④これらの年会費・参加費はどのように徴収されていますか

北海道	口座振り込み
東北	イベントレジストによるクレジットカード/PAYPAL事前支払い
関東甲信越	年会費は振込、参加費はオンライン決済か当日現金決済
東海北陸	年会費→振込、参加費→会場にて徴収
近畿	最近ハイブリッド開催が続いているため、現地参加、Web参加ともに事前登録、クレジット決済（クレジット決済ができない場合のみ銀行振込対応）。今後、現地開催のみとなった場合に当日参加登録、現金支払いを行うようにするかどうかはわからない。
中国四国	ネットバンキングなどの振込と大会ごとの現地徴収
九州	Web開催になり参加登録・支払いシステムをオンラインになったので、年会費支払いシステムもオンラインシステムを構築しました。毎回の参加登録・支払いシステムは開催校の管理ですが、年会費支払いシステムは鹿児島大学が管理するサイトとしています。

⑤共催セミナーを開催していますか

⑥共催セミナー開催に際し、共催費を徴収している場合は、いくらに設定していますか

北海道	NO	
東北	YES	60万円
関東甲信越	NO	
東海北陸	YES	60万円程度
近畿	YES	会場の収容人数によって金額は異なる。ランチョンセミナーで1,210,000円から1,430,000円。スイーツセミナーで、880,000円から1,100,000円。
中国四国	YES	(通常はランチョンセミナー2題) 共催費は大会長の一任(運営業者の設定)
九州	YES	60万円ー100万円とメーカーによって提示額が異なる。

⑦生涯教育講演会開催支援目的に40万円/年補助が本部よりあります。

支部運営に際し、収支について問題はありますか?

北海道	収支に大きな問題はありませぬ。
東北	特に問題無し
関東甲信越	ハイブリッド開催で赤字になっている
東海北陸	地方会と生涯教育講演会は、連日開催することが慣例となっていますが、令和2年度、3年度においては、地方会はWeb開催、生涯教育講演会は会場開催とした結果、参加者が激減したため、本部からの補助金40万円と参加費では赤字となり、繰越金を使用することとなりました。
近畿	当支部では、地方会と同じ日に講演会を開催しているが、地方会は運営事務局が講演会は支部事務局がそれぞれ主催し、事務手続きや会計も分けている。地方会と異なり、企業からの寄付や共催セミナーが開催できず、収入は学会よりいただく補助金と参加費のみである。そのため参加人数により収入が左右されることが近年のハイブリッド開催により会場関連の経費が増加しており、その年により収支はバラツクが、数年単位で収支を考えると今のところは概ね過不足なく推移している。今後、ハイブリッド開催がスタンダードとなるようであれば、見直しが必要かもしれない。
中国四国	特になし
九州	問題はない。

⑧令和元年度から地方会支部運営費として100万円/年の助成が行われていますが、

主な使途はどのようになっていますか

北海道	サマーキャンプなど学生研修医勧誘企画を行いたいのですが、コロナ禍で行えておりませんでした。2023年度から企画いたします。
東北	地方会事務局運営費、会場費に主に使用
関東甲信越	ハンズオンの開催
東海北陸	コロナ禍で会場開催できなかつたため、今後、ハンズオンセミナーなどのセミナー費として使用予定しています。
近畿	ホームページのリニューアル、毎回の地方会の託児室の経費(これまで参加者負担なしで運営)、事務担当者の人件費補助、不測の事態(コロナ禍では感染状況悪化による中止や延期)に生じたキャンセル費用と、大変有効に活用させていただいている。今後も支部として地方会における参加者への福利拡充や学会員獲得のための企画などに利用したいと考えている。
中国四国	すべて学会運営のために運営事務局に助成
九州	当初は助成金100万円と会員から徴収した年会費から、地方会開催ごとに開催校に35万円送っていましたが、現在は、世話人会での了承を得て、地方会開催で赤字になったときの補填用、あるいは、九州地方会が今後独自開催する学生・若手向けプログラムの準備・開催費用に充てるための準備金にしていま

⑨地方会の運営経費が余ったときは支部に返金していますか、逆に足りないときは補填していますか	
北海道	返金、補填はしていません。
東北	返金や補充はしていない
関東甲信越	そもそも全て支部が管理している
東海北陸	毎回、収支の差額0にて運営しています。
近畿	基本的には地方会各回は独自に口座を持ち、その中で収支する。余剰があれば支部の口座にて預かり、不足があれば補填する。支部全体としては会計は1本化という考え方。
中国四国	返還を頂いている
九州	余剰金のないように運営していただいております。足りない場合は支部から補填することとしていま

⑩運営費の内、事務局の件費はどのくらい支出されていますか	
北海道	事務補助員の件費として年間数万円程度の謝金を支出しています。
東北	約30万円前後
関東甲信越	していない
東海北陸	年間78万円
近畿	地方会への出向は1回（終日）15,000円／1名と交通費実費。 事務局の運営補助費として、年間200,000円。 現在、担当者は1名で、年間件費相当は245,000円。
中国四国	年間36万円（事務局員2名分）件費に充てている。
九州	事務局経費は件費も含め毎年20万円/年で計上しています。

⑪その他、地方会運営収支について問題はありますか	
北海道	ありません。
東北	特になし
関東甲信越	ハイブリッド開催で赤字になったが、次回からオンサイトのみになるため、おそらく解消される
東海北陸	ありません。
近畿	現在は、運営収支においては上記の運用により予算内で対応できている。今後物価高や件費、委託費などの高騰が生じる場合は、参加費用の見直しや助成金額の増額などのご相談をさせて頂ければと考えている。
中国四国	特になし
九州	特になし。

【4 役員について】

①支部代表の選考方法はどのようにされていますか	
北海道	世話人会で決定しています。
東北	支部長は世話人の互選により決定される（支部会則第5条）
関東甲信越	選挙
東海北陸	幹事から選出
近畿	1) 原則は、まず世話人会へ立候補、あるいは推薦を依頼する。 2) (立候補、推薦を得られない場合) 幹事会にて候補者を立て推薦する。 3) 世話人会にて承認を得る。
中国四国	世話人会において選挙表決で決定
九州	世話人会での立候補および世話人会での承認

②世話人は何名ですか

北海道	日本神経学会北海道支部地方会会則に則り10名
東北	26名
関東甲信越	74 (2018年)
東海北陸	90名
近畿	129名 (2023年4月1日現在)
中国四国	42名
九州	79名

③世話人はどのように選考されていますか

北海道	医歯大学卒3+7名を教育責任者を被選挙権者として、会員による投票で決定しています。コロナ以前は地方会総会時に投票し、その場で開票して決定していましたが、コロナ以降は郵送による投票としています。
東北	世話人は教育施設の施設代表者より選出され、世話人会にて決定する(支部会則第6条)
関東甲信越	推薦制
東海北陸	自薦、他薦
近畿	1) 学会代議員 2) 学会理事 3) 学会代議員でない学会教育施設の教育責任者 4) 3) で教育責任者が既に定年に達し、かつ、学会代議員がいない教育施設では、教育責任者より同施設で適任の学会正会員を推薦してもらう。
中国四国	現職世話人より推薦者を出して頂き、世話人会において表決
九州	基本的には教育施設の窓口なので、例年認定された教育施設から一人出てもらっていますが、辞退される施設もあります。

【5 新しい専門医制度への移行に伴う対応について】

地方会参加は今まで専門医更新単位として3単位が認められていましたが、機構専門医への移行に伴って今後1単位になることが予定されています。それにより、参加者数が減少する可能性も危惧しています。

①地方会支部として、その他に危惧されていることはありますか

北海道	特に危惧はしていません。
東北	現時点ではなし
関東甲信越	なし
東海北陸	ありません。
近畿	単位数減少により発表されない神経内科専門医の先生方の参加者数が減少した場合、若い先生方を中心とした発表・討議のトレーニングの場としての地方会のプレゼンスの低下が危惧される。また、参加者減による参加費および共催セミナー減少による収支運営面での悪化は、規模縮小や参加費増額などの要因となり負の循環を生む恐れもある。 但し、神経学会総会や関連学会への参加等により単位数としては充足する専門医の先生も多いと考えられるため、地方会の単位が1単位に減じても顕著な影響はないかとも推測される。また地方会は、神経内科専門医取得前の先生方の発表の場としての役割が大きく、これの先生方には単位数減少は関係しないためその点でも影響は限定的であると推測される。
中国四国	中国・四国地方会は各大学の持ち回りで開催していますが、遠方で交通の便も良くないので、現地集合ではほぼ前泊が必要です。更新単位が減ることで、特に一般勤務医や開業医の参加者数減少の懸念が大きいと思われます。
九州	特になし

②危惧される案件について、何か対策を考慮されていますか	
北海道	現時点で特に対策を取っておりませんが、地方会は専門医取得前の専攻医の教育の場として機能しておりますので、今後もその役割を果たすべく運営していくことを心がけています。
東北	現時点ではなし
関東甲信越	ない
東海北陸	ありません。
近畿	上記の若手奨励賞などの設置により、引き続き神経内科専門医取得前の初期研修医～専攻医の先生方の積極的な参加と演題登録を促進する。これにより、各施設の指導に当たられる神経内科専門医の先生方(中堅および指導医)にも引き続き積極的に参加頂ける様に対応する。その他、対策については地方会幹事会で議論を重ねる。
中国四国	現時点では、具体的対策は取っていません。一つの方法はハイブリッド形式にして、演者・座長と開催地に近い先生方はなるべく現地参加として、遠方の先生はWEB参加可とすれば、現状の参加者数の維持は期待できると思います。ただ、ハイブリッド形式は費用がかかるため、①本部からの開催費支援の増額、②他学会が行なっているように所属支部以外の地方会にもWEB参加で単位取得可能にすることで参加者数増加、などの対策が考えられます。
九州	特になし

【6 運営全体について】

①地方会独自のホームページはありますか

②ホームページがある場合どのような管理体制でしょうか

北海道	YES	事務局のある北海道大学神経内科Webページ上で管理しています。
東北	NO	
関東甲信越	NO	
東海北陸	NO	
近畿	YES	管理、更新業務は運営事務局（コンベンション）に委託。 更新内容、時期については、運営事務局と支部事務局が相談して決める。
中国四国	YES	事務局で管理
九州	YES	事務局（鹿児島大学）で管理。

③日本神経学会地方会支部運営細則が運用されていますが、改訂すべきと思われる事項はありますか

北海道	現在、北海道支部の世話人は医育機関の教育責任者3名に加えて、その他の教育施設、准教育施設、教育関連施設の責任者を被選挙者にして会員による選挙で7名を選考しています。現在、世話人全員が男性であり、世話人に女性枠を設けることも検討しています。しかしながら、女性の教育責任者が少数しかいないという現状もあります。 ※日本神経学会北海道地方会 支部細則については下記よりご確認ください。 https://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/hokkaido/index.html#subject01
東北	なし
関東甲信越	ない
東海北陸	ありません。
近畿	特にありません。
中国四国	特になし
九州	特になし

④支部代表の変更に伴って、事務局も支部代表の施設に移行していますか	
YES	北海道・関東甲信越（予定）・九州
NO	東北・東海北陸・近畿（これまでは固定、今後はわからない。）・中国四国

⑤その他、支部運営について、困っていることはありますか

北海道	<p>会員数が少ないため、ハイブリッド開催のための業者を入れることが難しいです。（1回80-100万円かかるため、大幅な負担増に繋がります。）事務局がZoom中継を設定し、簡易なハイブリッド形式としております。広大な北海道の地域医療を支えている会員が参加する機会が担保できるので、ハイブリッド開催の継続が望ましいと考えていますが、運営が事務局担当校に任されているため負担が大きくなっています。北海道支部の会員数からは現状の簡易ハイブリッドで実施することが最良であると考えます。もし今後、本格的なハイブリッド開催を行うことが推奨されるようであれば、年会費の増額か、企業協賛の獲得などの予算獲得が必要と思われるますが、事務局負担が増大してしまいます。学会本部からの財政的支援が必要になってくるように思います。</p> <p>地方会及び生涯教育講演会について、他の支部会員から参加希望がありました。運営の負担が高くなるためお断りしていました。会員が所属している支部以外の地方会/生涯教育講演会の参加可否について規定があると良いように思います。</p> <p>臨床神経学掲載用抄録をWEB登録するシステムの構築を学会本部で行っていただけると良いように思います。</p> <p>各支部の状況にあわせ、かつ現行の会員マイページにリンクした会費徴収システムを学会本部として構築いただくと支部事務局負担の軽減につながり良いように思います。</p>
東北	主催する県の大学・病院によっては、マンパワー/予算が不足する例がある。
関東甲信越	ない
東海北陸	生涯教育講演会とは別に、ハンズオンセミナーを実施しておりますが、今後の実施の是非や運営体制について、他支部の先生方とも相談できれば幸いです。
近畿	2023/12に現支部代表(大阪大学・望月秀樹)の任期3期満了に伴い支部代表が交代する。交代後の体制は次期代表の元調整することとなる予定である。
中国四国	特になし
九州	事務局運営費における事務職員の経費が20万円であり、仕事量を考えると現状は事務局の人的負担が重い状況である。

9. 地方会事務局についてご意見

特にご意見はいただかなかった。

10. 送る会についてご意見

今後の地方会（未定）で併せて開催することを高嶋先生よりご提案いただいた。

11. その他

- ・脳外科との共催はあった方がよいとのご意見を辻野先生よりいただいた。
- ・（他地方会の回数情報を踏まえたうえで）九州地方会の回数は多いかもしれず、4回のうち生涯教育講演会だけの回があってもいいのではないかと、また、生涯教育講演会も同時開催する可能性について、ご意見を辻野先生よりいただいた。
- ・谷脇先生から以前は午前と午後で地方会と生涯教育講演会を行っていたが、演題数が増えて別の日にすることになった経緯が説明された。

12. 地方会構成施設および会員

九州地方会会員数の推移

2022年2月	2023年2月	2023年6月	
575名	673名	677名	

13. 日本神経学会九州支部会員・代議員（R5年6月）

- ・日本神経学会認定施設数(九州支部)：113 → 109 施設
- ・九州地方会世話人数：76名 幹事：1名

日本神経学会九州支部会員数：

2016年4月	2018年4月	2020年4月	2022年5月	2022年12月
1094人	1120人	1140人	1165人	1167人

14. 資料

開催校一覧

第235回	2022. 3. 19	九州大学神経内科学（個別開催）
第236回	2022. 6. 18	産業医科大学神経内科学
第237回	2022. 9. 17	佐賀大学脳神経内科
第238回	2022. 12. 10	鹿児島大学脳神経内科・老年病学
第239回	2023. 3. 25	福岡大学脳神経内科
第240回	2023. 6. 24	久留米大学神経内科（今回）
第241回	2023. 9.	大分大学神経内科学（予定）
第242回	2023. 12. 9	宮崎大学脳神経内科（予定）
第243回	2024. 3. 2	九州大学神経内科学（共催予定）
第244回	2024. 6.	琉球大学（予定）
第245回	2024. 9	熊本大学（予定）
第246回	2024. 12	長崎大学（予定）
第246回	2025. 3	福岡大学（予定）

脳神経外科との共催

脳神経外科との共催	神経学会	脳神経外科学会
第235回 2022（九大）	個別開催	個別開催
第239回 2023（福大）	個別開催	個別開催
第243回 2024（九大）	共催予定	共催予定

脳神経外科との共催について持ち回りで行うことをご提案いただいた。

高嶋先生、谷脇先生より脳神経外科の地方会が年3回、脳神経内科の地方会が年4回であるため予定の調整が現在難しいこと、今後検討していくことを説明いただいた。

日本神経学会九州地方会世話人一覧 2023年4月末日

	県	認定施設名	名前	ふりがな
	34	福岡県 34施設	27	7
1	福岡	飯塚病院 【教育施設】	高瀬 敬一郎	たかせ けいいちろう
2	福岡	社会医療法人栄光会栄光病院 【准教育施設】	大野 雅治	おおの まさはる
3	福岡	独立行政法人国立病院機構大牟田病院 【教育施設】	笹ヶ迫 直一	ささがさこ なおかず
4	福岡	北九州市立八幡病院 【准教育施設】	末永 章人	すえなが あきひと
5	福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター 【教育施設】	桑城 貴弘	くわしろ たかひろ
6	福岡	九州大学病院 【教育施設】	磯部 紀子	いそべ のりこ
7	福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 【准教育施設】	中村 憲道	なかむら のりみち
8	福岡	九州労災病院 【准教育施設】	副島 直子	そえじま なおこ
9	福岡	久留米大学病院 【教育施設】	谷脇 考恭	たにわき たかゆき
10	福岡	健和会大手町病院【准教育施設】		
11	福岡	小倉記念病院 【准教育施設】	橋本 哲也	はしもと てつや
12	福岡	産業医科大学病院 【教育施設】	足立 弘明	あだち ひろあき
13	福岡	社会保険大牟田天領病院 【准教育施設】	岡本 定久	おかもと さだひさ
14	福岡	製鉄記念八幡病院 【准教育施設】		
15	福岡	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 【准教育施設】	福島 由尚	ふくしま よしひさ
16	福岡	医療法人社団高邦会高木病院 【准教育施設】	雪竹 基弘	ゆきたけ もとひろ
17	福岡	公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院 【准教育施設】	辞退	辞退
18	福岡	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 【准教育施設】	佐竹 真理恵	さたけ まりえ
19	福岡	社会医療法人大成会福岡記念病院 【准教育施設】	辞退	辞退
20	福岡	福岡県済生会福岡総合病院 【教育施設】	川尻 真和	かわじり まさかず
21	福岡	福岡山王病院 【教育施設】	谷脇 予志秀	たにわき よしひで
22	福岡	地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市民病院 【教育施設】	長野 祐久	ながの すけひさ
23	福岡	福岡赤十字病院 【教育施設】	北山 次郎	きたやま じろう
24	福岡	福岡大学筑紫病院 【准教育施設】	津川 潤	つがわ じゅん
25	福岡	福岡大学病院 【教育施設】	坪井 義夫	つばい よしお
26	福岡	医療社団法人高邦会福岡中央病院 【教育施設】	中村 優理	なかむら ゆうり
27	福岡	福岡東医療センター 【教育施設】	中根 博	なかね ひろし
28	福岡	福西会病院 【教育関連施設】	辞退	辞退
29	福岡	医療法人福西会福西会南病院 【教育関連施設】		
30	福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会二日市病院【教育関連施設】	水田 滋久	みづた しげひさ
31	福岡	浜江堂三野原病院 【准教育施設】	三野原 元澄	みのほら もとずみ
32	福岡	村上華林堂病院 【教育施設】	山田 猛	やまだ たけし
33	福岡	医療法人社団高邦会柳川リハビリテーション病院 【教育施設】	小池 文彦	こいけ ふみひこ
34	福岡	柳病院【教育関連施設】		
	6	佐賀県 6施設	4	2
35	佐賀	伊万里有田共立病院 【准教育施設】	後藤 公文	ごとう ひろふみ
36	佐賀	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 【准教育施設】	小杉 雅史	こすぎ まさふみ
37	佐賀	医療法人松籟会河畔病院 【教育関連施設】	辞退	辞退
38	佐賀	佐賀県医療センター好生館 【准教育施設】	高島 洋	たかしま ひろし
39	佐賀	佐賀大学医学部附属病院 【教育施設】	小池 春樹	こいけ はるき
40	佐賀	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）佐賀中部病院 【教育関連施設】	辞退	辞退
	11	大分県 11施設	8	3
41	大分	医療法人畏敬会井野辺病院 【准教育施設】	井野邊 純一	いのべ じゅんいち
42	大分	大分県立病院 【教育施設】	麻生 泰弘	あそう やすひろ
43	大分	大分県厚生連鶴見病院【准教育施設】	荒川 竜樹	あらかわ りゅうき
44	大分	大分赤十字病院 【准教育施設】	森 敏雄	もり としお
45	大分	大分大学医学部附属病院 【教育施設】	松原 悦朗	まつばら えつろう
46	大分	国家公務員共済組合連合会新別府病院 【教育施設】	迫 祐介	さこ ゆうすけ
47	大分	社会医療法人長門莫記念会長門記念病院 【准教育施設】	三宮 邦裕	さんのみや くにひろ
48	大分	永富脳神経外科病院 【准教育施設】	辞退	辞退
49	大分	独立行政法人国立病院機構西別府病院 【教育施設】	花岡 拓哉	はなおか たくや
50	大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター 【准教育施設】		
51	大分	医療法人社団村上神経内科クリニック 【教育関連施設】	辞退	辞退

	18	熊本県 18施設		11		7
52	熊本	荒尾市民病院 【准教育施設】		辞退		辞退
53	熊本	国立病院機構熊本医療センター 【教育施設】	幸崎 弥之助		こうざき やのすけ	
54	熊本	医療法人社団寿量会熊本機能病院 【教育施設】	渡邊 進		わたなべ すずむ	
55	熊本	くまもと県北病院【准教育施設】R3年4月より(旧公立玉名中央病院)	山口 安広		やまぐち やすひろ	
56	熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター 【教育施設】	上山 秀嗣		うえやま ひでつぐ	
57	熊本	熊本市市民病院 【准教育施設】	和田 邦泰		わだ くによす	
58	熊本	熊本赤十字病院 【教育施設】	寺崎 修司		てらさき しゅうじ	
59	熊本	独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 【准教育施設】		辞退		辞退
60	熊本	熊本大学病院 【教育施設】	植田 光晴		うえだ みつはる	
61	熊本	医療法人城南ヘルスケアグループ くまもと南部広域病院【教育施設】	森 麗		もり あきら	
62	熊本	独立行政法人国立病院機構熊本南病院 【教育施設】	阪本 徹郎		さかもと てつろう	
63	熊本	熊本労災病院 【教育関連施設】	原 靖幸		はら やすゆき	
64	熊本	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 【教育施設】	米原 敏郎		よねはら としろう	
65	熊本	医療法人杉村会 杉村病院【教育関連施設】		辞退		辞退
66	熊本	山都町包括医療センターそよう病院【准教育施設】				
67	熊本	医療法人財団聖十字会西日本病院 【教育施設】		辞退		辞退
68	熊本	国保水俣市立総合医療センター 【教育関連施設】		辞退		辞退
69	熊本	山鹿中央病院 【准教育施設】		辞退		辞退
	11	長崎県 11施設		9		2
70	長崎	JCHO諫早総合病院 【准教育施設】	溝田 貴光		みぞた たかみつ	
71	長崎	貴田神経内科・呼吸器科・内科病院 【准教育施設】	楠原 智彦		くすはら ともひこ	
72	長崎	佐世保市総合医療センター 【准教育施設】	藤本 武士		ふじもと たけし	
73	長崎	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院 【准教育施設】	竹尾 剛		たけお ごう	
74	長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 【准教育施設】	岩永 洋		いわなが ひろし	
75	長崎	独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター 【教育施設】	福留 隆泰		ふくどめ たかやす	
76	長崎	社会医療法人春回会長崎北病院 【教育施設】	佐藤 聡		さとう あきら	
77	長崎	国立大学法人 長崎大学病院 【教育施設】	辻野 彰		つじの あきら	
78	長崎	独立行政法人国立病院機構長崎病院 【准教育施設】				
79	長崎	長崎みなとメディカルセンター 【准教育施設】	六倉 和生		むつくら かずお	
80	長崎	日本赤十字社長崎原爆病院【准教育施設】				
	15	鹿児島県 15施設		9		6
81	鹿児島	医療法人慈風会厚地脳神経外科病院 【准教育施設】		辞退		辞退
82	鹿児島	いまきいれ総合病院 【教育施設】	吉村 道由		よしむら みちよし	
83	鹿児島	公益財団法人慈愛会今村総合病院 【教育施設】	神田 直昭		かんだ なおあき	
84	鹿児島	医療法人三州会大勝病院 【教育施設】	猪瀬 優		いのせ まさる	
85	鹿児島	社会医療法人恒心会恒心会おぐら病院 【准教育施設】				
86	鹿児島	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 【教育関連施設】	松岡 秀樹		まつおか ひでき	
87	鹿児島	鹿児島県立大島病院 【教育関連施設】		辞退		辞退
88	鹿児島	鹿児島県立北薩病院 【准教育施設】		辞退		辞退
89	鹿児島	鹿児島市医師会病院 【教育施設】	中川 広人		なかがわ ひろと	
90	鹿児島	鹿児島市立病院 【教育施設】	渡邊 修		わたなべ おさむ	
91	鹿児島	鹿児島大学病院 【教育施設】	高嶋 博		たかしま ひろし	
92	鹿児島	菊野病院 【准教育施設】		辞退		辞退
93	鹿児島	川内市医師会立市民病院 【准教育施設】	田邊 肇		たなべ はじめ	
94	鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 【准教育施設】		辞退		辞退
95	鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院 【教育施設】	園田 至人		そのだ よしと	
	7	宮崎県 7施設		5		2
96	宮崎	海老原総合病院【准教育施設】				
97	宮崎	県立宮崎病院 【教育関連施設】	田代 研之		たしろ けんし	
98	宮崎	潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院 【教育施設】	中尾 紘一		なかお こういち	
99	宮崎	千代田病院【教育関連施設】				
100	宮崎	藤元メディカルシステム藤元総合病院 【准教育施設】	大窪 隆一		おおくぼ りゅういち	
101	宮崎	宮崎大学医学部附属病院 【教育施設】	塩見 一剛		しおみ かずたか	
102	宮崎	独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 【教育施設】	杉本 精一郎		すぎもと せいいちろう	

	7	沖縄県 7施設		3	4
103	沖縄	大浜第一病院【准教育施設】			
104	沖縄	沖縄県立中部病院【准教育施設】	城之園 学	じょうのその まなぶ	
105	沖縄	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター【准教育施設】	神里 尚美	かんざと なおみ	
106	沖縄	国立病院機構 沖縄病院【教育施設】	渡嘉敷 崇	とかしき たかし	
107	沖縄	医療法人徳洲会 中部徳洲会病院【准教育施設】			
108	沖縄	地方独立行政法人 那覇市立病院【准教育施設】			
109	沖縄	琉球大学病院【教育施設】			
	109	教育研修施設数109	76	33	
	施設数		世話人数	辞退・未定施設数	
	福岡	福岡県済生会飯塚嘉穂病院【准教育施設】	下家 恵一	しもや けいいち	
	福岡	九州中央病院【准教育施設】			
	福岡	社会医療法人青洲会福岡青洲会病院【准教育施設】	辞退	辞退	
	長崎	小鳥居内科脳神経内科クリニック【教育関連施設】	辞退	辞退	